

よみがえれ ほんとうの空 おきあがれ 明日への大地

～「菜の花プロジェクト」と「食の安全」、放射能に負けない福島の姿～

3月11日の東日本大震災と3月12日の福島原発事故による放射能汚染は広範囲におよび、東北の産業は直接被害と深刻な風評被害に晒されています。

放射能が降り注いだ絶望の大地を希望の大地に切り開くためにはどうすればいいのか？東北の、福島の農業はどうなるのか？日本の食の安全は守られるのか？今、日本は大きな課題に直面しています。

今回のサミットは「菜の花プロジェクト」と「食の安全」をコンセプトに、放射能に負けない福島の姿を皆様と共に全国に発信することを目指し、そして「次に繋がる、次に繋げる」ために福島でサミットを開催します。

福島を応援するため、そして、福島の元気な姿を全国に発信するため、ぜひご参加ください。

平成24年 4. 28(土) 29(日)

第12回 全国 菜の花サミットinふくしま

会場／須賀川市文化センター（須賀川市牛袋町 11 ☎0248-76-7777）

主催：第12回全国菜の花サミットinふくしま実行委員会

共催：特定非営利活動法人菜の花プロジェクトネットワーク、財団法人日本グラウンドワーク協会、公益財団法人東京財団、須賀川市

後援：内閣府、農林水産省、環境省、復興庁、福島県

協力：NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、福島放送、福島民報社、福島民友新聞社、阿武隈時報社、マメタイムス社、日本農業新聞、日本経済新聞、毎日新聞郡山支局、朝日新聞郡山支局、読売新聞郡山支局、河北新報社郡山支局、ラジオ福島、ふくしまFM、福島空港ビル

※共催、後援、協力団体は協議中で確定ではありません。

プ ロ グ ラ ム

4月28日

12:00～13:00 シンポジウム受付

13:00～13:30 開会セレモニー

13:40～15:40 基調講演

「ドイツにおけるバイオマスエネルギー村の取り組み」

～地域でのエネルギー自立の可能性～

マリアンネ・カーペンシュタイン・マッハ氏（ゲッティンゲン大学教授）

ハイコ・ローエンゲル氏（ツェントルム ノイエ エナギーエン有限会社社長）

15:50～16:40 事例報告

■東北大学環境システム生物学分野教授 中井裕氏（津波塩害農地復興）

■福島県農業総合センター（菜種に対する放射性物質の影響）

■株式会社エコ ERC 代表取締役社長 爲廣正彦氏（菜種栽培）

■株式会社ひまわり 総務部長 岩崎康夫氏（菜の花プロジェクト）

16:45～17:45 対談

「福島の放射能と食の安全」

特定非営利活動法人チェルノブイリ救援・中部理事 河田昌東氏

株式会社ジェイラップ代表取締役 伊藤俊彦氏

17:50～18:00 サミット宣言

18:30～20:30 交流会（歓迎レセプション）

会場：ホテル虎屋（須賀川市宮先町 41）会費：5,000 円

4月29日

午前 エクスカーション・分科会

エクスカーション

①須賀川市菜の花プロジェクトコース（定員 40 名）

②いわき市菜の花プロジェクトコース（定員 40 名）

③すかがわプチ周遊コース（定員 40 名）

分科会

①農地の放射線量低減対策と食の安全確保について（定員100名）

②菜の花を使った津波塩害農地復興について（定員50名）

③菜種単収アップに向けた栽培事例・技術について（定員50名）

※詳しくは裏面へ

13:00～14:00 閉会セレモニー

4月28日同時開催

10:00～ パネル&ブース展

10:00～ うつくしまふくしま物産市

《お問い合わせ・お申し込み先》【サミット全般に関するお問い合わせ・お申し込み先】

〒962-0053 福島県須賀川市卸町24 第12回全国菜の花サミットinふくしま実行委員会事務局
Tel:0248-94-2710 Fax:0248-94-2712 E-mail:nanohana.fukushima@oregano.ocn.ne.jp
【宿泊に関するお問い合わせ】

〒962-0031 福島県須賀川市影沼町222 株式会社コーワトラベル
Tel:0248-75-2115 Fax:0248-75-2188 E-mail:kowa@cocoa.ocn.ne.jp
※ホームページもご覧ください。http://nanohana-fukushima.com

第12回 全国菜の花サミットinふくしま

4月29日(日) エクスカーション・分科会のご案内

サミット2日目はエクスカーション・分科会を開催します。様々なプログラムをご準備いたしましたので、ぜひご参加ください。

エクスカーション

時間:①③9:00~②8:40~ 参加費(昼食代込):2,000円

集合:①③8:50②8:30 文化センター駐車場

エクスカーション① 定員40名

須賀川市菜の花プロジェクトコース

須賀川市菜の花プロジェクトのシンボルともなっている、飛行機をかたどった菜の花畑の見学、菜の花を使ったフラワーアレンジメントの体験ができます。その後、市内のBDF製造プラントを見学します。

エクスカーション② 定員40名

いわき市菜の花プロジェクトコース

福島県内で菜の花プロジェクトに取り組んでいる団体の中から、いわき市での取り組みを見学します。なお、時間の都合上、閉会セレモニーへの参加はできませんので、ご了承ください。

エクスカーション③ 定員40名

すかがわプチ周遊コース

サミット直前に開園したばかりの国指定名勝「須賀川牡丹園」をはじめ、大型農産物直売所「はたけんぼ」、俳人松尾芭蕉の足跡を偲ぶ「芭蕉記念館」など、須賀川の歴史と文化を巡ります。

分科会

会場:福島空港ビル 時間:9:00~ 参加費(昼食代込):1,000円

集合:8:30 文化センター駐車場

分科会① 定員100名

農地の放射線量低減対策と食の安全確保について

福島県が復興を果たすために最も重要な課題である農地の放射線量低減と食の安全確保について、独自の対策を行っている株式会社ジェイラップの事例を基に、皆さんで検討していきます。

分科会② 定員50名

菜の花を使った津波塩害農地復興について

大津波のため、ダメージを受けた沿岸地域の農地で、菜の花を使った津波塩害農地復興に取り組んでいる東北大学の事例を中心に、検討を進めていきます。

分科会③ 定員50名

菜種単収アップに向けた栽培事例・技術について

菜の花プロジェクトを推進するためには、菜種の収量を増やすことも必要です。菜の花の栽培技術について、北海道十勝地方や福島県内の事例を基に検討する分科会です。

申し込みフォーム

お申し込み先:全国菜の花サミットinふくしま実行委員会事務局 FAX:0248-94-2712

お申し込み受付期限 平成24年4月7日(土)まで

申し込み日 平成 年 月 日 (新規・変更・取消)			
(フリガナ)		(フリガナ)	
団体名		代表者名	
ご住所 (送付先) 連絡先	〒 -	当日携帯番号	
		TEL	
		FAX	
利用交通機関	○を付けてください ⇒ ご自宅・勤務先(勤務先名)		
	☐ JR ☐ 空港(発) ☐ 乗用車(台) ☐ バス(人乗 台) ☐ その他()		

	氏 名		性別	4月28日(土)			4月29日(日) ※希望する場合はどれか1つに○					
	漢 字	フリガナ		シンボ ジウム	交流会	宿泊	分科会			エクスカーション		
例	須賀川太郎	スガカワタロウ	男	○	○	○ C2	①	②	③	①	②	③
1							×	×	×	×	×	○
2												
3												
4												

特記事項(サミット内容・宿泊・交通等 ※4月27日(金)29日(日)の宿泊等も受け付けます。)

【申し込み内容】必要事項をご記入ください。宿泊は、下記【ホテルリスト※お一人様一泊朝食(税・サービス料込み)料金】から記号をご記入ください。

	ホ テ ル 名	部屋タイプ	記号	宿泊料金
A	ホテル八幡屋	和 室 (6名利用)	A	12,500円
B	郡山ビューホテルアネックス	シングル (1名利用)	B	9,500円
C	ホテルウイングインターナショナル須賀川・ホテル虎屋・ サンルート須賀川・チサンホテル郡山・バーデン	シングル (1名利用)	C1	8,000円
		ツイン (2名利用)	C2	
D	月光温泉クアハイム	和 室 (5名利用)	D	8,000円

申し込み後、代表者宛に「開催要項・宿泊のご案内・申込確認書・請求書」を送付いたしますので、内容を十分に確認のうえ、お振込みをお願い申し上げます。

※ホテルの部屋割りについては、指定旅行代理店への一任をお願い申し上げます。また、和室は基本的に相部屋となります。

※部屋数の関係上、希望タイプ以外のお部屋に変更をお願いする場合がございますので、予めご了承ください。